

実務経験のある教員等による授業科目の配置について(理学療法学科1)
2020.4.1現在

科目名	担当者	時間数	必修・選択の別	授業形態	配当年次	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
疾患別運動療法演習 切断	富久哲郎	30	必修	演習	3	病院、介護老人保健施設での臨床経験から、切断患者様に対する評価やアプローチ(主に歩行)について授業する。
疾患別運動療法演習 心疾患	中東大	30	必修	演習	3	急性期病院で働いた経験から、循環器疾患を持つ患者が実際どのような症状がみられるか、またどのような理学療法を行うのかを伝えていく。そして過去に出題された国家試験にも触れ、できるだけ最終目標となる国家資格を意識できる授業にする。
医学情報処理学	宮城淳弘	30	必修	講義	3	1987年に理学療法士の免許を取得し、整形外科専門病院に17年以上勤務し、スポーツ関連、高齢者関連などの症例発表を行ってきた。日々のリハビリ業務に加え、手術見学、画像診断カンファレンス参加、整形外科用語マニュアル翻訳出版手伝いなどを行ってきた。これらの経験と蓄積した知識を授業というツールを用いて学生たちに伝える。
疾患別運動療法演習 呼吸	宮澤幸児	30	必修	演習	3	理学療法士として呼吸関連は疾患としてだけでなく、人工呼吸器などの離脱でも理学療法士が関与することが多くなってきています。なるべく現場に即した講義にしていきたいです。
運動療法総論	富久哲郎	30	必修	講義	3	病院・介護老人保健施設での勤務経験で得た、アプローチの原理・原則を理解できるような授業を行う。
疾患別運動療法演習 神経・筋疾患	中東大	30	必修	演習	3	急性期病院、維持期病院、老人保健施設、特別養護老人ホーム、クリニック等で働いた経験から得た知識を活かし、教科書の知識だけでなく、実際の臨床ではどのような症状がみられるか、またどのような理学療法を行うのかを伝えていく。できるだけ実技を多くして興味が続く授業にする。
日常生活動作学・生活環境論	中東大	30	必修	講義	3	急性期病院(脳神経外科)、維持期病院で働いた経験から実際に患者をもつ患者がどのような日常生活を送っているのか、また日常生活活動をどのように見ていくのかを伝えていく。随時実技を取り入れ、伝えたいことを吸収しやすい授業にする。
疾患別運動療法演習 脊損	水野靖廣	30	必修	演習	3	理学療法士として整形外科で実務経験がある教員が、脊髄損傷特有の病態や評価、体動などを指導する科目である。
疾患別運動療法演習 脳血管障害	富久哲郎	30	必修	演習	3	病院や介護老人保健施設での臨床経験を活かし、実習や国家試験で役に立つ授業を行う。
物理療法学	水野靖廣	30	必修	講義	3	理学療法士として整形外科で実務経験がある教員が、温熱や冷却、電磁波、音波、牽引等の物理療法機器の原理から取り扱い方法を指導する科目である。
疾患別運動療法演習 整形	村田薫克	30	必修	演習	3	急性期病院、整形外科クリニックで理学療法の実務経験のある教員が、運動器障害に対する評価・治療やリスク管理について具体的な事例も提示しながら、実技を含め授業を進めていきます。
評価実習事前・事後指導	富久哲郎	30	必修	講義	3	臨床で学生を指導した経験を活かし、授業を進めていきたいと思っています。
疾患別運動療法演習 小児	原田隆之	30	必修	演習	3	一般社団法人Re Smile では、2012年に制度化された放課後等デイサービス(障がい児が学校後、休日に通う施設)において、全国でも珍しいリハビリに特化した運営を行っています。講義の中では、利用時・ご家族の協力を得て、写真・動画を駆使しながら、実際のリハビリ現場をイメージしやすいように行っていきます。
人間関係学Ⅱ	富久哲郎	30	必修	講義	3	臨床で担当した高次脳機能障害を有する患者様との体験談を交え、臨床のイメージができるような授業を行う。
検査・測定法Ⅱ(演習)	宮澤幸児 中東大	30	必修	演習	3	宮澤 医療現場だけでなくスポーツトレーナーの経験もあり幅広い知識を習得している。その知識を活かし、特に整形外科疾患に対する評価の解釈などを取り入れ、より実践的な授業にする。 中東 急性期病院、維持期病院、老人保健施設、特別養護老人ホーム、クリニック等で働いた経験から得た知識を活かし、検査の基本手技だけでなく、実際の臨床ではどのようにやるのかなども伝えていく。できるだけ実技時間を多くして手技をしっかり習得できる授業にする。
動作分析学	富久哲郎 宮澤幸児	30	必修	講義	3	富久 病院・老人保健施設で多くの患者さまの動作を見てきた。この経験を活かし授業を行いたいと思います。 宮澤 整形外科分野に15年ほど携わっており、スポーツの現場に10年ほど在籍していました。人間のパフォーマンスを上げるには局所だけでなく、人間の活動がどのように行われているかを分析することが重要になってきますので頑張りますよ。
疾患別運動療法演習 代謝疾患	水野靖廣	30	必修	演習	3	理学療法士として高齢者リハビリテーションやスポーツリハビリテーションの実務経験がある教員が、糖尿病をはじめとした代謝疾患及び内分泌疾患の成因からアプローチ方法を指導する科目である。
合計		510		時間		

実務経験のある教員等による授業科目の配置について(作業療法学科)
2020.4.1現在

科目名	担当者	時間数	必修・選択の別	授業形態	配当年次	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
作業治療学Ⅲ(発達障害)(講義)	伊藤ひろ美	30	必修	講義		3 老人保健施設、訪問リハ等での臨床経験をもとに、作業療法の実際について講義を行う。
作業治療学Ⅳ(老年期障害)(講義)	藤野頼貴	30	必修	講義		3 認知症治療病棟・重度認知症デイケア・訪問看護からのリハビリテーション・デイサービスにて勤務し、認知症をはじめとする高齢者へのリハビリテーションに従事してきました。また地域などでも認知症カフェ等での講師を行ってきた為、医学的リハビリテーションのみならず、予防領域においても地域包括ケアシステムの役割を担えるように授業を展開します。
生活環境論	伊藤ひろ美	30	必修	講義		3 老人保健施設、訪問リハ等での臨床経験をもとに、住環境等の整備の実際について講義を行う。
医学情報処理学	中村千紘	30	必修	講義		3 整形外科、老人保健施設において、身体障害領域のリハビリや整形疾患、認知症の方々のリハビリテーションを担当していた。その経験を活かし、画像診断と症状を結びつけることに加え、心電図についての講義を実施する。
作業治療学Ⅰ(身体障害Ⅰ)(実習)	吉田 準	45	必修	実習		3 実際の患者さんでは、それぞれ個性のある症状を呈してくる。しかしそれらの違いのある症状に対して基本的なことを理解していく事がまず第一歩である。実際に実習に出ていったときにできるだけ役に立つ授業としたい。
作業治療学Ⅰ(身体障害Ⅱ)(実習)	中村千紘 吉田準	45	必修	実習		3 整形外科、老人保健施設において、身体疾患をもつ患者のリハビリにあたる。その経験を活かし講義と実技を中心とした授業を行う。
作業治療学Ⅱ(精神障害)(講義)	中村千紘	30	必修	講義		3 精神科病院において、病棟作業療法、訪問看護、デイナイトケアを担当する。その後、メンタルクリニックにてリワークデイケアを立ち上げ、精神科作業療法士として勤務した。その経験をいかし、精神科の評価と治療について講義授業する。
評価実習事前指導	杉野潤也	30	必修	講義		3 作業療法士として地域リハビリテーション分野を中心に従事してきた。この経験を踏まえ、臨床実習に必要な知識・技術・態度の習得をはかる。
人間関係学Ⅱ	中村千紘	30	必修	講義		3 精神科病院、メンタルクリニック、老人保健施設において作業療法士として勤務。身体や精神に疾患を持った患者様や認知症を患われた方と治療関係を結ぶためには信頼関係が欠かせない。どのように関係構築をしていくのかについて講義と学生同士での作業を通じた観察という実技、その内容をレポートにまとめることで、評価から考察内容を表記していく過程を学ぶ。
作業治療学Ⅰ(身体障害Ⅱ)(実習)	中村千紘	45	必修	実習		3 整形外科、老人保健施設において身体疾患をもつ患者のリハビリにあたる。その経験を活かし講義と実技を中心とした授業を行う。
作業療法概論(研究法)	杉野潤也	30	必修	講義		3 作業療法士として、地域リハビリテーション分野を中心に従事してきた。実証研究は公益社団法人全国介護老人保健施設大会での報告発表がある(第20回新泊大会 審議演者、「小集団リハビリの効果的な実践方法と実施人数の検討」)。口頭発表、23回沖縄大会、共同演者、入所者様の楽しみの提供を考えて「外出レクリエーションの試み」、口頭発表)。これらの経験を踏まえ、作業療法士に必要な研究法の基礎が体得できるように講じる。
作業治療学Ⅰ(身体障害Ⅲ)(実習)	吉田準	45	必修	実習		3 大学付属病院での勤務を通して、神経筋疾患や中枢神経系の疾患の実際を体験したことを伝えていきたい。
作業治療学Ⅲ(発達障害)(実習)	伊藤ひろ美	45	必修	実習		3 老人保健施設、訪問リハでの臨床経験をもとに、作業療法の実際について授業を行う。
作業治療学Ⅱ(精神障害)(実習)	中村千紘 齊藤清貴	45	必修	実習		3 精神科病院、メンタルクリニックにおいて精神科作業療法士として勤務する。その経験をいかし、精神科の評価と治療について講義と面接等の実技を含めた授業を実施する。
作業治療学Ⅳ(老年期障害)(実習)	藤野頼貴	45	必修	実習		3 認知症治療病棟・重度認知症デイケア・訪問看護からのリハビリテーション・デイサービスにて勤務し、認知症をはじめとする高齢者へのリハビリテーションに従事してきました。また地域などでも認知症カフェ等での講師を行ってきた為、医学的リハビリテーションのみならず、予防領域においても地域包括ケアシステムの役割を担えるように授業を展開します。
義肢装具学(演習)	吉田準	45	必修	演習		3 手のリハビリを行う過程で、経験した装具作成の知見を活かして具体的な重要点を伝えていく。
合計		600		時間		